

広島都市学園大学 言語聴覚専攻科

入学試験（小論文）出題の意図

1 出題の意図

言語聴覚専攻科は、言語、聴覚、コミュニケーション、摂食・嚥下などに障害をもつ人を支援し、評価・訓練及び指導ができる言語聴覚士の養成を目的としています。アドミッション・ポリシーでは、大学卒業程度以上の基礎学力（文章読解力、文章作成能力、論理的思考力）と、複雑で多様な障害をとりまく問題への関心を求めています。

本試験では、志望する職業への理解を問う問題 1 と、高齢者の摂食・嚥下と地域支援に関する資料を読み、要約したうえで自分の考えを述べる問題 2 を出題しました。

2 問題 1（言語聴覚士の仕事の説明・200 字程度）

ねらい 言語聴覚士の対象・業務・活躍の場を正しく理解し、限られた字数で簡潔に説明できるかをみます。

3 問題 2（資料の要約 150 字前後と意見・全体 700 字以内）

ねらい 資料の論旨を正確に読み取り、要点を簡潔にまとめ、それを踏まえて自分の考えを理由とともに筋道立てて述べられるかをみます。あわせて、摂食・嚥下障害をはじめ、高齢者をとりまく課題への関心を問います。

4 評価の観点（問題 1・2 共通）

- ① 設問の要求（字数、要約と意見の区別）に正確に応えているか。
- ② 資料や設問の内容を正確に理解しているか。〔AP：文章読解力〕
- ③ 論旨が一貫し、根拠をもって述べているか。〔AP：論理的思考力、文章作成能力〕
- ④ 自分の考えを、読み手に伝わる的確な日本語で表現しているか。〔AP：自分の考えを積極的に文書で表現する力〕
- ⑤ 障害をとりまく問題への関心と、言語聴覚士を目指す意欲がうかがえるか。〔AP：障害をとりまく問題への関心と解決しようとする意欲〕